



点滴療法研究会

年次報告書

2014
Annual report



御挨拶

新しい時代の波に乗る



会長 柳澤 厚生
Atsuo Yanagisawa, MD, FJCIT
点滴療法研究会マスターズ・クラブ会長

点滴療法研究会の年次報告書を皆様にお届けできることを嬉しく存じます。会員諸氏のご尽力により、私たちは多くの新会員を迎えました。2014年に開催したセミナーは常に活気に溢れ、特に若い

医師らが点滴療法や栄養療法に強い関心を持っていました。これまでにない動きです。私たちが医療界に送った風が、今は大きな波を引き寄せています。

新たな国内活動として、子宮頸がん（HPV）ワクチンの副作用に苦しむ子らを救うための治療の提供を始めました。国際活動は韓国の大韓静注医学会との合同セミナー、トーマス・レヴィ博士の招聘、国際オーソモレキュラー医学会へ会員と出席、アルジェリアや台湾のオーソモレキュラー医学会との交流など充実した1年でした。

2015年は点滴療法と栄養療法の国民への周知を図るため、テレビ、新聞などメディアへの働きかけを重点活動とします。また、新しいチャレンジとして、事業構想大学院大学のプロジェクト研究に関わり、会員諸氏に来る時代の医療変革に応えられる提案をしていきます。皆様のご指導をよろしく申し上げます。

代替医療の益々の拡大に期待する



事務局長 上符 正志
Masashi Uwabu, MD
銀座上符メディカルクリニック院長

この1月に新年はじめての点滴療法研究会主催のワークショップがあり、ランチョンセミナーを含め、総勢11名の医師による各分野のトピックスを終日講演していただいた。会場は連休にもかかわらず、全国から御参加いただき、満員御礼で補助椅子もでていた。代替医療をすでに導入している先生、これから始める先生、興味のある先生方で講演会は最後まで熱気に溢れ、興味深いテーマには質問が続いた。おそらく数年前ではこれだけ多くの開業医の先生が出席され、ノートを取り、質問されることはなかったと思う。明らかに統合医療・代替医療・予防医学に対する風向きが変わってきているように感じる。西洋医学の重要性はもちろん熟知しており、さらに代替医療からアプローチも提案できるように選択肢を広げて、治療の幅、可能性をひろげていきたいという希望なのだろう。現実に代替医療を真剣に選択肢に入れる患者さんが多くなっている。この医療の潮流変化に応じるよう点滴療法研究会は、これからも安全で科学的検証に基づいた検査方法・治療指針・ライフスタイルなどを御紹介いたします。

海外ドクター御挨拶

これからの医療について



バートン・バークソン（アメリカ）ニューメキシコ統合医療センター所長

最初に、国境を越えて一般市民や医師の教育に努める、柳澤先生の努力と功績に賞賛の意を表します。

この数年間でいくつかの原発事故が起きました。医療に携わる者として、放射能に晒された人々をどのように治療するか、ということがこれからの大きな課題になってきています。人間が放射能物質に晒されると、大量のフリーラジカルが体内に発生します。このプロセスの中で体内のあらゆる細胞や組織、臓器がフリーラジカルによってダメージを受けてしまいます。ビタミンC、そしてあまり知られてはいませんがαリポ酸もフリーラジカルを減少させます。私は長い間αリポ酸に関する研究をしてきました。日本の点滴療法研究会が被ばく予防の提言メンバーの一人に私を加え、ビタミンCと共にαリポ酸を提言の中に加えることができました。点滴療法研究会の益々の発展と、被ばく予防の提言がこれからの人類の健康と幸せのために貢献することを期待しています。

ボードメンバー

国内ボードメンバー



会長 柳澤 厚生
点滴療法研究会
マスターズ・クラブ会長



事務局長 上符 正志
銀座上符メディカル
クリニック 院長



阿部 博幸
九段クリニック
理事長



森 吉臣
赤坂 AA クリニック
院長



水上 治
健康増進クリニック
院長



芝田 乃丞
株式会社スピック
会長



澤登 雅一
一番町ごきげん
クリニック 院長



古山 登隆
自由が丘クリニック
理事長



高島 正広
高島クリニック
院長



平良 茂
ハートフルクリニック
院長



日比野 佐和子
Rサイエンスクリニック広尾
院長



菅野 渉平
IVC 分析センター
指導監督医



新福 泰弘
インペリオクリニック
院長



松山 淳
医療法人松寿会
松山医院 院長

海外ボードメンバー



イリエス・バグリ
(アルジェリア)
アルジェリアオゾンモレキュラー
医学会会長



バートン・パークソン
(アメリカ)
ニューメキシコ統合医療
センター所長



パーフォード・メイソン
(カナダ)
元トロント総合病院コンナッハ
頭頸がん研究所部長



スティーブ・カーター
(カナダ)
国際オゾンモレキュラー
医学会事務局長



ダミアン・ダウニング
(イギリス)
英国環境生物医学会
会長



ジェームズ・グリーンブラット
(アメリカ)
ウォルデン行動医療病棟
摂食障害部門部長



ロナルド・ハニハイキ
(アメリカ)
リオルダン・クリニック
所長



スティーブ・ヒッキー
(イギリス)
オゾンモレキュラー
医学会編集委員



ジョン・ホフナー
(カナダ)
マギル大学
内科教授



マイケル・ジャンソン
(アメリカ)
米国先端治療会議 ACAM
元会長



トーマス・レヴィ
(アメリカ)
キャピタル統合医療大学
元教授・医師・弁護士・作家



劉 輝雄
(台湾)
インペリアルクリニック
院長



ロベルト・オルティス
(メキシコ)
メキシコオゾンモレキュラー
医学会会長



ニール・リオルダン
(アメリカ)
ステムセル研究所
所長



アンドリュー・W・ソウル
(アメリカ)
オゾンモレキュラー医学
ニュース編集長



ガート・E・シュートメーカー
(オランダ)
前・国際オゾンモレキュラー
医学会会長
医学雑誌 ORTHO 編集長



ウェルマン・シュレーダー
(アメリカ)
サンタフェアルギー
環境医療センター所長



ブラッドフォード・ウィークス
(アメリカ)
ウィークス・クリニック
院長

国際活動

- 1月 【アルジェリア】 アルジェリアオーソモレキュラー医学会 (SANMO) に出席
アントワヌ・ベシャン賞受賞

24日 国営アルジェリアテレビ出演
25日 同国にてIVCなどの分子栄養療法によるがん治療などについて記者会見で発表

【アメリカ】 医学雑誌「Townsend Letter」に研究会が提唱する被ばく対策のステートメントが掲載
- 3月 【韓国】 第1回「大韓静注医学会設立総会」にて柳澤会長のビデオレター公開
- 4月 【カナダ】 第43回「国際オーソモレキュラー医学会」に
会長および多数の理事が出席
- 6月 【アメリカ】
書籍「The Orthomolecular Treatment of Chronic Disease」に
研究会が提唱する被ばく対策のステートメント・研究結果が掲載
- 9月 【アメリカ】 リオルダン IVC がん治療国際シンポジウムに出席
同シンポジウムにてパールメーカーアワード受賞
- 10月 【韓国】 「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」韓国語版出版



1月 アントワヌ・ベシャン賞受賞式にて



9月 パールメーカーアワード受賞

トピックス

2014年は点滴療法研究会の活動が海外で大きく認められた1年でした。その功績として2つの賞を点滴療法研究会を代表して柳澤会長が受賞されました。

アントワヌ・ベシャン賞受賞

□アントワヌ・ベシャン賞

分子栄養学の発展に大きく貢献されたフランスのアントワヌ・ベシャン博士に由来する由緒ある賞です。過去の受賞者には、高濃度ビタミンC点滴療法の第一人者であるライナス・ポーリング博士などが挙げられます。今回は点滴療法研究会の活動を通して広く分子栄養学を発展・普及させたことが受賞の大きな理由となりました。



SANMOにて講演

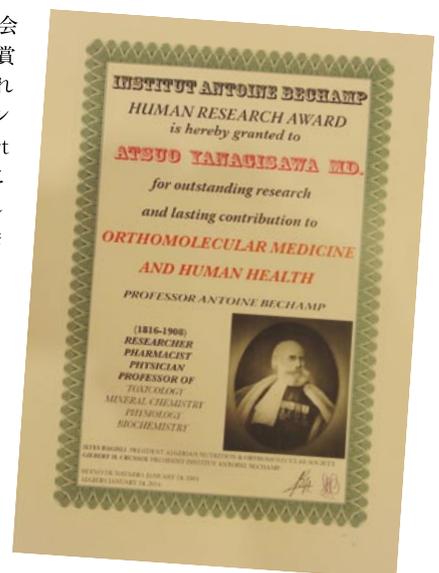
□柳澤会長よりメッセージ

アルジェリアオーソモレキュラー医学会の会場でアントワヌ・ベシャン賞 (Antoine Bechamp Award) を授与されました。急遽開かれた授与式では、アントワヌ・ベシャン研究所の所長 Gilbert H. Crussol 博士 (80歳) がフランスよりこのために医学会に出席され賞状を授与してくださいました。受賞理由は分子栄養医学における研究と貢献でした。Crussol 博士はビタミンCによる放射線被ばく対策の私たちの活動をご存知です。この賞は共に活動をしている点滴療法研究会のマスターズ・クラブ会員の先生、支援して下さっている皆様、関係諸氏そして事務局スタッフ全員で受賞したと思っています。この場を借りて会員皆様にお礼を申し上げます。

柳澤厚生



アントワヌ・ベシャン賞受賞式

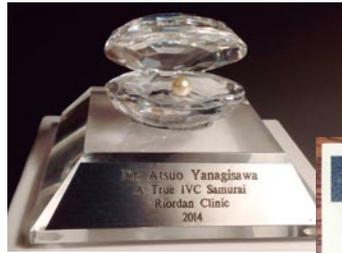


アントワヌ・ベシャン賞

パールメーカーアワード受賞（リオルダンシンポジウムにて）

□パールメーカーアワード

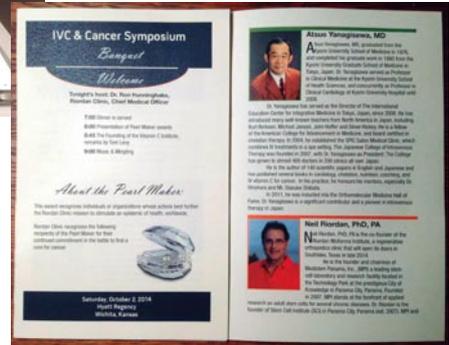
今回初めて、高濃度ビタミンC点滴療法の貢献者に贈られるパールメーカーアワードが設けられました。この賞は、真珠に例えられた賞です。真珠は一粒の砂粒が少しずつ大きくなり、光り輝く真珠になります。高濃度ビタミンC点滴療法をまったく新しい視点で研究、臨床、普及させた貢献者に贈られる賞です。



パールメーカーアワード

□柳澤会長よりメッセージ

シンポジウムの後の晩餐会にてパールメーカーアワードを受賞しました。リオルダンクリニックの研究者であるニーナ・ミキロヴァ女史、ビタミンC点滴の臨床応用を広げたトーマス・レヴィ博士に続き、各国で高濃度ビタミンC点滴療法を広めたことで私、最後にステムCニュートリションなど高濃度ビタミンC点滴療法の併用補助療法を抜群の発想で産み出し続けたニール・リオルダン先生が受賞しました。ハニハイキ所長は「ビタミンC点滴の誠の武士（サムライ）」と私を紹介、全員のスタンディングオベーションの中を壇上に上がり、クリスタル盾を渡されました。スピーチは受賞の名誉を感謝し、これまでにご支援いただいた多くの方々にお礼を伝えました。点滴療法研究会の会員皆様と築いてきた研究や普及が真珠となり認められたものだご確信しています。これからもより大きな真珠へと育てていくことを目標として2015年も精進をしていきます。皆様のご教授、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



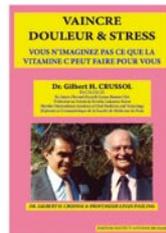
パールメーカーアワード紹介文

柳澤厚生

書籍掲載

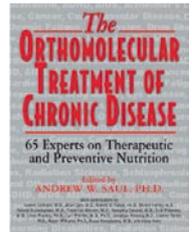
「Townsend Letter」
「Vaincre Douleur&Stress」
「The Orthomolecular Treatment of Chronic Disease」
点滴療法研究会の提唱する被ばく対策に関するステートメント・研究結果が掲載されました。

Townsend Letter



Vaincre Douleur&Stress

The Orthomolecular Treatment of Chronic Disease



韓国での活動

□テレビ出演

点滴療法研究会が作成した被ばく対策DVD「a Gift」について柳澤会長が取材を受けました。韓国のドキュメンタリー番組にてその様子が放映され、ビタミンCによる被ばくからガン治療までを解説しました。

□大韓静注学会発足

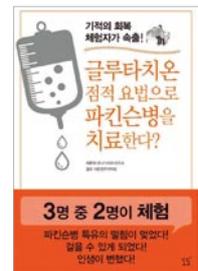
2014年には点滴療法研究会協力のもと韓国にも点滴療法を普及する会が発足されました。発足にあたりビデオレターにて柳澤会長が挨拶を行いました。

□書籍「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」韓国語版発売

日本でも発売より好評を得ていた「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」は、多数の要望により2014年10月に韓国語版が発売されました。



ドキュメンタリー番組取材



韓国語版出版

アルジェリアでの活動

□アルジェリアオーソモレキュラー医学会

点滴療法研究会の紹介、オーソモレキュラー医学について、高濃度ビタミンC点滴療法、栄養療法の大切さ、そして点滴療法研究会が国際的に活動している栄養療法について講演しました。

□テレビ出演

国营アルジェリア放送の番組「グッドモーニング・アルジェリア」にライブ出演。分子栄養療法によるがん治療などの紹介をしました。

□記者会見

福島現状、被ばく健康障害に関する情報の不足、ビタミンCによる被ばく対策、そして原発の廃止を訴えました。翌日に新聞3紙にて掲載されました。



グッドモーニング・アルジェリア出演

国内での活動

- 1月 19日 第50回「New ベーシックセミナー」
- 3月 21日 第51回「New ベーシックセミナー」
第52回「キレーションセミナー」
22日 第53回「New アドバンスセミナー」
23日 点滴療法研究会
【スペシャルセミナー】
海外講師招聘：トーマス・レヴィ先生（米国）
31日 書籍「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」発売
- 4月 11～13日 第111回「内科学会」出展
- 6月 6～8日 第14回「抗加齢医学会」出展
- 7月 20日 第54回「New ベーシックセミナー」
21日 特別セミナー
「3人のエキスパートが語る臨床現場で
今すぐはじめる最新医療の実際」
27日 市民講演 in 福岡
- 8月 3日 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」
- 10月 19日 歯科医師向けセミナー
- 11月 22日 第55回「New ベーシックセミナー」
23日 第56回「New アドバンスセミナー」
第5回「高濃度ビタミンC点滴療法認定医」講習会
24日 日韓合同 特別セミナー「日韓の最新点滴療法を学ぶ」
- 12月 7日 点滴療法の基本実技講習会（入門編）
「もうはずさない！血管確保の実際」



3月 スペシャルセミナー



3月 キレーションセミナー



7月 特別セミナー



10月 歯科医師向けセミナー

トピックス

3月 点滴療法研究会スペシャルセミナー

2014年はスペシャルセミナーの講師として、歯科と関わりの深いトーマス・レヴィ先生を招聘。高濃度ビタミンC点滴療法で口腔感染症（特に感染根管）と全身疾病との研究成果をご講演。また2014年度よりボードメンバーに就任の新福泰弘先生を招聘。「医師に知って欲しい口腔から始まる病巣感染と病巣炎症」をご講演。臨床に直結した新情報が好評でした。



トーマス・レヴィ先生



質疑応答

6月 内科学会・抗加齢医学会出展

○内科学会に初出展。企業プレゼンにて「最新の点滴療法、分子栄養療法を学ぶ」を講演。
○抗加齢医学会に出展。「日本におけるアンチエイジング診療の最前線」を講演。
両学会共に、点滴療法研究会の会員ドクターも多数ご来場いただき、盛会でした。意欲溢れるドクターに多くご来場いただき、更なる活動の普及が行えました。2015年も両学会に参加致しますので是非お立ち寄りください。



内科学会講演の様子



抗加齢医学会ブース

7月 3人のエキスパートによる特別セミナー

PRP（自己多血小板血漿）注入療法をパイオニアである久保田潤一郎先生がご講演。アンチエイジングのスペシャリスト、松山淳先生は様々な知識とコツについてご講演。薬に頼らない体に優しい治療法を追求されている平良茂先生は適切なサプリメントや点滴の選択方法についてご講演。
点滴療法研究会セミナーでは初の試みとしてPRP療法の実演が行われました。



実演の様子



平良茂先生

7月 市民講演 in 福岡

福岡市で市民講演開催。高濃度ビタミンC点滴による体に優しいがん治療、アンチエイジングの食事・栄養療法について、わかりやすく解説。多くの一般の方にご来場いただき、200名満席でした。知られていない治療法や正しいサプリメントの選び方、病気にならないための生活の仕方など、「家族や知り合いにも教えてあげたい」という声を多数いただきました。



会場の様子



市民講演

10月 歯科医師向けベーシックセミナー

歯科医師に特化した点滴療法実践セミナーを開催。ボードメンバーである新福泰弘先生がご講演。歯科クリニックに必要な点滴療法の基本と具体的な処方、導入事例、法的問題点、さらに併用する栄養療法を解説。患者のためにも歯科医師が点滴療法を導入しなければならないことが明確になると好評でした。



懇親会の様子



新福泰弘先生

リオルダン IVC がん治療国際シンポジウム

リオルダン IVC がん治療国際シンポジウム

2014年10月3日より2日間にわたって、米国カンザス州ウィチタ市のハイアットホテルで「第4回リオルダン IVC がん治療国際シンポジウム」が開催されました。このシンポジウムはビタミンC点滴療法(IVC)によるがん治療のバイオニア、ヒュー・リオルダン博士(1932-2005)が創設したリオルダンクリニックが2年毎に開催しています。出席者は多岐に富んでおり、米国・カナダ・メキシコ・イギリス・ナイジェリア・パナマ・ベネズエラ・日本・韓国・インドネシアなど各国から集まっていました。

■主な講演内容

初日の午前は全米各地で点滴療法のセミナーを主宰している著名なバージニア・オスボーン先生による高濃度ビタミンC点滴療法のがん治療における基本的な考え方、そして点滴バッグを調整するときの浸透圧についての解説でした。午後は点滴療法研究会の国際ボードメンバーとして日本でもおなじみのトーマス・レヴィ先生が具体的な処方と法的問題についての解説をしました。



VCワンショット



2日目のシンポジウムについては、参加者より「今回は格段に高いレベルで満足している」という声が多数聞かれました。また「トピックスの内容も良かったが、何よりも講師レベルが高く感じた」との声も多く聞かれました。以下が主なトピックスです。

- (1) がんは代謝障害と捉えて根本原因を探る
- (2) がん患者におけるグルタチオン欠乏と治療
- (3) がん患者とカルシウム代謝
- (4) アルファリポ酸点滴によるがん治療
- (5) がんの栄養療法
- (6) 環境毒物とがん治療
- (7) 高濃度ビタミンC点滴療法の臨床試験最新レビュー
- (8) ミトコンドリア代謝障害としてのがん
- (9) オゾン療法とビタミンC点滴によるがん治療プロトコル
- (10) 高濃度ビタミンC点滴療法の臨床
- (11) 高濃度ビタミンC点滴療法の法的諸問題

【がんになったらどの治療を選ぶ?】

シンポジウムの終盤、ハニハイキ会長がシンポジストたちに『もしあなたがガンになったらどんな治療を選びますか?』と質問しました。シンポジストらが、ビタミンC点滴、ゲルソン療法、サ



プリメントなどと答えている時に、六十歳くらいの男性の出席者が手を挙げ、議長の許しを得て話を始めました。

『わたしは内科医です。二年前に前立腺癌となり、全身の骨に転移をしていました。抗がん剤も手術もしませんでした。まずはライフスタイルを変えて、食事をケトジェニックダイエットに、完全に糖質カット、フラックスシードオイル、オーガニックの野菜、αリポ

酸やビタミンDのサプリ、そしてビタミンCの点滴をしました。1ヶ月前にPET検査をして、ここに来る前に主治医から結果を告げられました。いま、わたしのからだにガンの痕跡はどこにもありません!』

とても感動する話でした。全員が総立ちで彼に拍手が贈られました。



パークソン先生と



ハニハイキ先生、レヴィ先生と

■イベント紹介

VCワンショット

講義中あるいは休憩時間に会場の後ろでワンショットのビタミンC注射を無料で体験できるコーナーがありました。リオルダンクリニックの看護師が控えていて、会期中の3日間だけで180回の点滴をしていました。

IVCテスト

シンポジウムの前日に第1回IVCアカデミーと認定試験が行われました。これは正しいリオルダン・プロトコル(高濃度ビタミンC点滴の治療プログラム)を広げ、受講者同士のネットワークを作ることが目的でした。

■パールメーカーアワード授与式

今回のシンポジウムでは、高濃度ビタミンC点滴療法をまったく新しい視点で研究、臨床、普及させた功労者に対し、パールメーカーアワードの授与がありました。

受賞者は、リオルダンクリニックの研究者であるニーナ・ミキロヴァ女史、ビタミンC点滴の臨床応用を広げたトーマス・レヴィ博士に続き、各国で高濃度ビタミンC点滴療法を広めたことで柳澤会長、最後にステムCニュートリションなど高濃度ビタミンC点滴療法の併用補助療法を抜群の発想で産み出し続けたニール・リオルダン先生が受賞しました。

ハニハイキ所長は「ビタミンC点滴の誠の武士(サムライ)」と柳澤会長を紹介、全員のスタンディングオベーションの中を壇上に上がり、クリスタル盾を渡されました。柳澤会長は受賞の名誉を感謝し、これまでにご支援いただいた多くの方々にお礼を伝えました。



受賞者達と

国際オーソモレキュラー医学会 & 日韓合同セミナー

第43回国際オーソモレキュラー医学会

第43回国際オーソモレキュラー医学会が、2014年4月25日から3日間、カナダのバンクーバー市街中心にあるフェアモントホテル・バンクーバーで開催されました。世界各国から約200人の医師・歯科医師・栄養士などが出席しました。日本からは点滴療法研究会のボードメンバーの阿部博幸先生、水上治先生、新福泰弘先生、松山淳先生ほか総勢30人の医師・歯科医師、関係者が出席しました。



■学会内容

カーター事務局長の開会の挨拶で学会の幕が開き、3日間で15講演が行われました。分子栄養医学を軸に遺伝子診断、肥満、ナチュラルホルモン療法、精神疾患の栄養療法、加齢、アルツハイマー病など多岐にわたる内容でした。一部抜粋してご紹介いたします。



会場となったホテルバンクーバー



講演の様子

米国シャクターセンターのマイケル・シャクター博士は「サルベストロールによるがん治療」と題する講演をしました。サルベストロールはオーガニックの果物や野菜に含まれる物質で、CYP1B1酵素によってがん細胞をアポトーシスに誘導する代謝産物に変換されます。このCYP1B1酵素は全てのがん細胞に存在する酵素ですが、正常細胞には認められません。すなわちCYP1B1酵素-サルベストロール系は体内のがん細胞を排除する自然のシステムであると考えられます。シャクター博士は進行した肺癌、悪性リンパ腫、乳がんの患者にサルベストロールを投与して劇的に改善した症例を紹介しました。今後の研究の進み方で、がん治療の有力な選択肢として期待ができると考えています。

上記以外にも多数の興味深い講演がありました。点滴療法研究会では日本語版テキスト（抜粋版）も販売しております。

■第44回国際オーソモレキュラー医学会のご紹介

今年は、2015年4月24日から3日間トロントにて第44回国際オーソモレキュラー医学会が開催されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日韓合同セミナー

■日本と韓国の最新点滴療法の知識交流

韓国より大韓静注医学会理事のオ・ヘヨン先生とキム・ドンファン先生を招聘。自院の栄養点滴療法や高濃度ビタミンC点滴療法とがんの代謝療法・韓国で今話題になっているプラセンタ栄養療法による機能的アプローチについてのご講演。また、東洋医学的発想の認知症治療学で有名な河野和彦先生によるご講演。学会最新情報として2014年リオルダンIVCシンポジウムの詳細を柳澤会長よりご紹介させていただきました。

■セミナーの様子

「東洋医学的発想の認知症治療学 - コウノメソッド」では、参加者に大きなインパクトを与えていました。これまで点滴療法研究会では、認知症に関する講演は行ってこなかったこともあり、会員ドクター、スタッフ共々興味津々でした。また河野和彦先生の講演の運びの巧さに食い入るように聴講されている姿が多く見受けられました。オ・ヘヨン先生とキム・ドンファン先生の講演では、終始とても明るい雰囲気でした。美容からガンまで幅広くご講演いただき、日本と韓国の知識交流の場としてよい機会を得ることができました。

■その後の懇親会の様子

セミナー終了後に講師を囲んで懇親会が行われました。和やかな雰囲気もありましたが、会場の様々な場所で質問や意見交換が活発に行われ、セミナーの熱気がそのまま続いているようでした。日本と韓国の知識交流が盛会に終えられたことを大変うれしく思います。



点滴療法研究会実践セミナー 2015 年 年間予定

マスターズ・クラブ主催の点滴療法実践セミナーは、安全かつ効果的な点滴処方の組み方から料金の設定まで具体的であり、講習を受けた翌日から外来で点滴療法を実践できる内容です。また、幅広い分野の点滴療法の基本から最新のトピックスまで学べるため、初心者の方から実践経験が豊富な熟練者までご満足いただけます。

1月11日(日) ベルサール三田 (東京)

ワークショップ

点滴療法研究会マスターズ・クラブ会員医師・歯科医師 10 名による、診療現場での技術・治療・症例などを発表。別会場にて新年会を開催いたします。

1月12日(月・祝) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー I

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズ・クラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

3月8日(日) スピックサロン・メディカルクリニック
(神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)「もうはずさない!血管確保の実際」
点滴療法を導入していただくための前準備・セッティング・穿刺・抜針等、基本手技について、充実したオリジナルテキストや静脈模型を使用して実技を学びます。
①採血・点滴の基本知識 ②静脈血採血 ③翼状針・留置針による点滴の実際
④ビタミンC点滴(25g)の体験 ⑤G6P D検査キットの扱い方 ⑥Q & A

3月22日(日) ベルサール三田 (東京)

特別セミナー

【講師】柳澤 厚生 先生 (点滴療法研究会マスターズ・クラブ 会長)
上符 正志 先生 (銀座上符メディカルクリニック 院長)
平良 茂 先生 (ハートフルクリニック 院長)
辻 直樹 先生 (辻クリニック 院長)

4月18日(土) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー I

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズ・クラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

4月19日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー II

ベーシックセミナー I を学ばれた先生に是非、受講していただきたいセミナーです。Detox・IgG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸他、最新の点滴療法を関連する栄養療法と共に深く実践的に学びます。

キレーションセミナー

「ACAM プロトコルによる米国式キレーション療法の実際」
キレーション認定医試験

キレーション療法は心臓病や動脈硬化の治療、環境汚染や食品添加物に対するデトックス療法として注目されている点滴療法です。点滴療法研究会ではキレーション療法認定医制度を設けています。4月に開催される本講習の受講及び所定教材(DVD 付)にて事前学習することにより認定試験を受験できます。

5月17日(日) ベルサール三田 (東京)

歯科医師のための点滴療法 ベーシック

【講師】新福 泰弘先生 (医療法人インペリオクリニック 院長)

6月14日(日) スピックサロン・メディカルクリニック
(神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)「もうはずさない!血管確保の実際」
点滴療法を導入していただくための前準備・セッティング・穿刺・抜針等、基本手技について、充実したオリジナルテキストや静脈模型を使用して実技を学びます。
①採血・点滴の基本知識 ②静脈血採血 ③翼状針・留置針による点滴の実際
④ビタミンC点滴(25g)の体験 ⑤G6P D検査キットの扱い方 ⑥Q & A

7月12日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー I

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズ・クラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

7月19日(日) ベルサール三田 (東京)

スペシャルセミナー

【講師】ロナルド・ハニハイキ先生 (リオルダン・クリニック 所長)
ウィリアム・ショー先生 (グレートブレインズ研究所 所長)

8月9日(日) ベルサール三田 (東京)

歯科医師のための点滴療法 アドバンス

【講師】新福 泰弘先生 (医療法人インペリオクリニック 院長)

9月13日(日) スピックサロン・メディカルクリニック
(神奈川県鎌倉市)

点滴療法の基本実技講習会(入門編)「もうはずさない!血管確保の実際」
点滴療法を導入していただくための前準備・セッティング・穿刺・抜針等、基本手技について、充実したオリジナルテキストや静脈模型を使用して実技を学びます。
①採血・点滴の基本知識 ②静脈血採血 ③翼状針・留置針による点滴の実際
④ビタミンC点滴(25g)の体験 ⑤G6P D検査キットの扱い方 ⑥Q & A

10月11日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー I

点滴療法の基本「グルタチオン点滴療法」、「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説します。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズ・クラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&A サポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

10月12日(月・祝) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー II

ベーシックセミナー I を学ばれた先生に是非、受講していただきたいセミナーです。Detox・IgG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸他、最新の点滴療法を関連する栄養療法と共に深く実践的に学びます。

11月22日(日) ベルサール三田 (東京)

【会員限定】高濃度ビタミン C 点滴療法認定医講習会

【会員限定】高濃度ビタミン C 点滴療法認定医試験

研究会では、真摯に高濃度ビタミン C 点滴療法を学び、正しい方法で患者に提供する為に、高濃度ビタミン C 点滴療法認定医(Master of IVC Therapy) 制度を設け、マスターズ・クラブ会員医師の質の保証をしています。

11月23日(月・祝) ベルサール三田 (東京)

特別セミナー

【講師】未定

